

令和7年度ダビンチ入試（総合型選抜）スクーリング内容の公表について

最終選考〈情報工学課程〉

日 程	11月2日（土） 午前
プログラム	講義・レポート作成
ね ら い	講義内容の理解および結論の導出過程から、基礎学力、論理的に思考する能力や考えを的確に表現する能力をみる。
要 約	データの探索法について講述した後、レポート課題を提示して総合的な理解力と表現能力を見た。 最初に、コンピュータによるデータ探索の基礎と木構造の概要について講述した。次に、二分探索木を用いてデータ集合の中から特定のデータを探索する方法と、二分探索木に対してデータを挿入・削除する方法について講述した。最後に木構造に依らない探索法であるハッシュ法について講述した。これらの講義内容を包括するレポート課題を提示し、これに対する解答を求めた。これにより、講義内容の理解力、数学・国語に関する基礎学力、論理的に思考する能力、講義内容をベースとした応用力、自らの考えを的確に示す表現力を評価した。（9時30分から12時00分まで）

日 程	11月2日（土） 午後
プログラム	課題提示・グループディスカッション
ね ら い	提示された課題の中から問題点と解決策を見いだす能力をみる。さらに、集団の中で他人の意見を理解し、協調して意見をまとめ上げる能力をみる。
要 約	最近のソフトウェア開発はチーム開発が主流であること、コーディングよりテストの設計と実施に相当の労力が割かれていること、について説明した後、「チーム開発におけるテスト工程の失敗事例の想定とその対策の提案」を課題として提示した。各個人に想定させた「失敗事例」をグループ内で共有した上で、グループとして議論の対象とする事例を1点決定し、失敗の原因とその対策について意見集約してポスターにまとめる作業を行わせた。失敗事例の共有からポスター作成・発表までの、リーダーシップの発揮、他者の意見に対する理解力、自身の意見の発想力および表現力、議論のまとめあげに対する協力姿勢を評価した。さらに、チーム開発に起因する失敗の共通原因に関する考察、グループディスカッションで自らが積極的に果たせた役割、に関するレポートを各個人に作成させ、その内容についても評価した。